

HOT NEWS

雲仙復興事務所

平成23年4月28日

★大規模災害時の地元支援について 技術セミナーを開催しました

発信元

雲仙復興事務所

調査・品質確保課 荒金 恵太

近年、地方自治体だけでは対応が困難な大規模な自然災害が多発しています。雲仙復興事務所では4月20日(水)に、国土技術政策総合研究所小山内信智砂防室長をお招きし、平成20年の岩手・宮城
内地震対応、新燃岳噴火対応、そして東北地方太平洋沖地震の状況についてご報告いただき、**大規模災害における地元支援のあり方を考える技術セミナーを開催しました。**技術セミナーには、当事務所職員をはじめ、地元自治体(長崎県、島原市、南島原市、雲仙市)防災担当者等30人が参加しました。参加者からは防災意識の高い質問が積極的に飛び交い、大変有意義なセミナーとなりました。セミナーでの主な論点は以下の通りです。



●国総研小山内室長の講演

○大規模災害時の地元支援のあり方

・国は高度な技術力を活かし、市町村が適切な避難指示を行うための判断の根拠となる情報を提供する(土砂法改正で国の役割が明確化)

○地元支援のための必要な準備

・緊急時にスムーズな対応ができるよう、平常時から大規模災害を想定した訓練やシミュレーションを行い、組織体制や資機材の備蓄等基礎情報を整理しておくことが重要

○東日本大震災の土砂災害の危険性

・土砂災害の発生状況は地震の規模に対して極端に少ない(102件)が、その後の余震によって災害が発生し、被害につながる恐れがある



●東日本大震災の土砂災害
(セミナー資料より抜粋)



●地元新聞にも掲載されました

雲仙復興事務所はこれまでの災害復興で培ったノウハウを活かし、今後も地域防災力の向上に努めます。